

出産の祝

然れども、閑あるときは、教會堂に詣で、或は自宅に於て之を營む。唯、女子は、教會堂に行くことなし。

又兒生れたるときは、其の父、經を誦し、親近、朋友相會して祝宴を開く。男子長じて七八歳に至れば、即ち上記の如く勢皮破の禮を行ふこと三日間に及ぶ。是れ亦重要な祝事たり。

舞踏

纏頭回は祝祭等の日に當りては、遊牧民と同じく、商家の子弟男女相集りて、舞踏唱歌を以て祝意を表す。尙ほ平素と雖も、閑散の時は、好んで能く歌ひ能く躍る。

其形様殆んど我國の盆踊に似たり。而も農夫は、冬季多く富者の大厦に集ひ、商人は夏季城外の園囿に相會し、或は男女入り交り、或は女子のみ得意の舞踏を行ひ、男子は蛇皮線、太鼓等の樂器を用ひ、唱歌して之に和し、一般に「ウオイナン」と稱す。

遊牧民遷徙の祝

遊牧民族の游牧地を遷徙するときは、即ち彼等の准祝日にて、男女悉く美服を襲ね而も平生素身の少年も、尙ほ且つ衣服を着し、衆皆相謳歌して出發する狀況は、頗る奇なるもの有り。

宴席

又彼等民族の最も愉快とするは、冠婚、弔祭、祝賀の宴會等とす。苟もこの事ある